

- 1 単元名 ちがいをかんがえてよもう 題材「どうぶつの赤ちゃん」光村図書1年下
- 2 目標
  - 動物の赤ちゃんの様子や成長過程に関心をもち、進んで読もうとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
  - ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子や成長過程を比較しながら読むことができる。  
(読む能力)
  - 教材文の文章構成を活用して、説明文を書くことができる。  
(書く能力)
- 3 指導上の立場
  - 児童の実態

削除しています。

○題材観

「どうぶつの赤ちゃん」は、最初に問題提起があり、それに対する答えが説明されているという構造になっていて、「じどう車くらべ」と共通している。ライオンとしまうまの赤ちゃんを対比しながら説明しているので、叙述に即して比べながら読み取る力を付けることができる。また、両者を、赤ちゃん時の「大きさ」「目や耳」「お母さんに似ているか」などの共通の観点で対比しながら書いているので、文章構成をとらえやすい。

さらに、ライオンとしまうまの赤ちゃんのそれぞれの生まれたばかりの様子と成長の過程を対比しながら読んでいく中で、それぞれの動物のおかれている環境や自然の厳しさなども子どもなりに感じ取ることができ、動物の世界に対する驚きや共感、発見があると考えられる。

○本単元で工夫する点や手立て

**領域を有機的に結びつけた関連的な指導（読む・書く）  
説明文教材に、表現活動（書く活動）を取り入れた単元構想の工夫**

- ・単元の導入時には、数種類の動物の赤ちゃんの写真を見せ、動物の赤ちゃんに興味をもてるようにするとともに、動物の赤ちゃん図鑑を作ることへの意欲付けをする。
- ・ライオンとしまうまを対比的に読み取るために、観点別に整理がしやすいワークシートを準備し、まとめていくようにする。
- ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を読み取る中で、感動したことを表現するために、文章中にハートマークをつけて自分の思いを書き込むようにする。
- ・学習活動の最後に、インタビュアー（担任）と、ライオンやしまうまの赤ちゃん（児童）との対話活動を入れることによって、読み取ったことを自分の言葉で表現することができるようにする。

**学びを重ねていくことができるような系統的な指導  
児童に「学び方」「読み方」を意識させ、学んだことが使える力を育てる指導の工夫**

- ・「問い」に対する「答え」を読み取っていく際、一つ目の問いに対する答えは赤鉛筆で、二つ目の問いに対する答えは青鉛筆で印をつけ、問いと答えが対応できるようにする。

**内容のおもしろさとそれを支えている書きぶりのおもしろさの両面を読む学習活動の工夫**

- ・ 比喩の言葉（子ねこぐらい、やぎぐらいなど）を具体物で示すことによって、大きさを実感して読むことができるようにする。
- ・ ライオンとしまうまそれぞれが、「生まれたときの大きさ」「目や耳の様子」など、同じ観点について記述されていることを読み取り、対比のおもしろさを味わえるようにするとともに、自分が動物図鑑を作る時にも、観点に沿って調べ、書くことができるようにする。

○ 授業改善の視点

「動物の世界に対する驚きや感動を味わいながら、比較の観点を明確にして読む授業」

4 指導計画（全 1 1 時間）

第 1 次 学習の見通しをもつ。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（2 時間）

- 第 1 時 動物の赤ちゃんの写真を見て赤ちゃんへの興味・関心をもつ。  
本文を読み、疑問や驚きなどを発表する。  
動物の赤ちゃん図鑑作りに向けた学習計画を立てる。
- 第 2 時 本文を読み、2 つの問いを確認する。  
それぞれの赤ちゃんについて、生まれたばかりの様子と大きくなっていく様子が書かれている文のまとまりを確認する

第 2 次 ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんについて読み取る・・・（5 時間）

- 第 1 時 ライオンの赤ちゃんが生まれたばかりの様子を読み取る。
- 第 2 時 しまうまの赤ちゃんが生まれたばかりの様子を読み取る。
- 第 3 時 ライオンの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取る。
- 第 4 時 しまうまの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取る。（本時）
- 第 5 時 同じ観点で対比的に説明している本文の文章構成について考える。

第 3 次 動物の赤ちゃん図鑑を作る。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（4 時間）

- 第 1 時 他の動物の赤ちゃんについて調べる。
- 第 2・3 時 赤ちゃんの成長の様子を教材文と同じ観点ごとにまとめ、図鑑を作る。
- 第 4 時 作品の交流をする。

5 評価

- 動物の赤ちゃんの様子や成長過程について興味をもって読もうとしている。  
（国語への意欲・関心・態度）
- ライオンとしまうまの赤ちゃんの特徴を比較しながら読むことができる。（読む能力）
- 赤ちゃんの様子や成長過程を比較の観点に沿って調べ、動物の赤ちゃん図鑑を書くことができる。（書く能力）

6 本時案（第2次第4時）

<p>目標</p>	<p>しまうまの赤ちゃんが成長する様子を示す文や言葉に着目したり、ライオンの赤ちゃんの成長との違いを考えたりする活動を通して、しまうまの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取ることができる。</p>
<p>学 習 活 動</p>	<p>指導・支援に関する配慮事項など</p>
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○前時までの学習を振り返り、学習のめあてを確認する。</p>
<p>ライオンの赤ちゃんとのちがいをかんがえながら、しまうまの赤ちゃんが大きくなるようすをよみとろう。</p>	<p>ライオンの赤ちゃんとのちがいをかんがえながら、しまうまの赤ちゃんが大きくなるようすをよみとろう。</p>
<p>2 しまうまの赤ちゃんの成長の様子が分かる文に青でサイドラインを引く。</p>	<p>○15文から19文を読むことによって、書かれている内容を確認することができるようにする。 ○ライオンの赤ちゃんとの違いに着目しながら、しまうまの赤ちゃんの成長の様子が分かる文に青鉛筆でサイドラインを引くよう声かけをする。サイドラインが引けた児童には、驚いたり感動したりしたところにハートマークをつけて、自分の思いを書き込むように指示する。 ○サイドラインが引きにくい児童には、前時のワークシートを見るよう声かけをし、ライオンの赤ちゃんの様子を思い出させるようにする。</p>
<p>3 サイドラインを引いたところを話し合いながら、大きくなっていく様子をまとめる。</p>	<p>○ライオンの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取った時と同じように、時間を表す言葉を手がかりにしながら成長の様子を読み取ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>時間を表す言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれて三十分もたたないうちに</li> <li>・つぎの日には</li> <li>・たった七日ぐらい</li> <li>・そのあとは</li> </ul> </div> <p>○ライオンとしまうまの赤ちゃんの時間的な成長過程をテープで示すことにより、しまうまの赤ちゃんの成長の早さに気付くことができるようにする。 ○ライオンの赤ちゃんの成長の様子を観点ごとにまとめたワークシートを板書で示し、同じ観点にそってしまうまの赤ちゃんの成長の様子をまとめることによって、ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長を比べやすくする。</p>
<p>4 しまうまの赤ちゃんになって、インタビュアーと対話をする。</p>	<p>○インタビュアー（担任）の「しまうまくんすごいね。どうしてそんなに早く大きくなるの」の問いに対するしまうまの赤ちゃんの答えを考え発表する中で、本文から読み取ったことを自分の言葉で表現することができるようにする。特に、しまうまの赤ちゃんは、厳しい自然の中で生きていくために、早く大きくなれないといけないといった内容を対話の中に入れていく児童がいれば全体の場で紹介する。 ◎しまうまの赤ちゃんの成長の様子を読み取ることができたか。（読む能力）</p>
<p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>○ワークシートにしまうまの赤ちゃんの大きくなっていく様子をまとめる。</p>